

公表

事業所における自己評価総括表 <放課後等デイサービス>

○事業所名	古河市児童発達支援センター ぐるんば		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の満足度が高いこと	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援を充実させています。 利用者それぞれのニーズに合わせて対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの資質向上のため継続的な研修等を行います。
2	活動空間や環境が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> 十分な部屋の数や広さを確保しています。 必要に応じて場所の調整が行えるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部段差等があるため、バリアフリー化を促進します。
3	保護者への説明等が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しお子さんの評価や見立てを行っています。 保護者の方と積極的にコミュニケーションをとっています 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキルアップのため、教育や研修の機会をさらに充実させます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 非常時対策の各種マニュアルの策定や、定期的な避難訓練などを行っていますが、利用者全体へのアナウンスや報告が少なく、認知されていない状態と考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> LINEやSNS等を活用した積極的な情報発信を行います。
2	保護者間、きょうだい同士の交流の機会に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ぐるんばカフェなど小規模での保護者交流会は実施しています。 現在の利用者のきょうだい構成は、年齢等の要素が非常に異なっている状態です。 	<ul style="list-style-type: none"> ぐるんばカフェの充実を図ります。 ぐるんばで実施できるきょうだい交流の形について検討します。
3	他の施設や地域の子どもの交流の機会に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応の充実に重点を置いているため、相対的に交流機会に関する事業が発展が遅れています。また、利用していることを知られたくない方々への配慮も両立していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情勢や利用者のニーズを定期的に調査検討し、事業所として果たすべき役割について見直しを継続します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果<放課後等デイサービス>

事業所名 古河市児童発達支援センター ぐるんぱ

公表日 令和8年3月13日

利用児童数 24人

回収数 9人

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	1	1	・言語聴覚士の人数が少ない	・サービスの質を維持するため、引き続き計画的な人材確保を行います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	2	4	3	・個別のトレーニングですので、他のお子さんとの接触はありません	・センターの放課後等デイサービスでは、個別支援を提供しております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	0	2			

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果 <放課後等デイサービス>

事業所名	古河市児童発達支援センター ぐるんぱ		公表日		令和8年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・和室前の階段はあるが、2段程度であり、肢体不自由のお子さんであっても自分で移動できる状態となっている。	・和室までバギー等で移動できない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・グループ療育は場所を共有することになっているが、お子さんが他の個室に興味を持った時には、そこが使用中でない限り、そこでも活動を認めている。個別療育については、基本、個室で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・必要に応じて、上司に相談し、職員会議で職員と共有できるようになっている。業務改善に参画できるようになっているが、主体的に参画しているかどうかについては、課題だと思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・今年度から導入中。評価結果については、今後提案していただける予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・定期的に内部研修も行っていますが、職員が外部の研修にも参加できる機会を設けています。 ・研修については、職員一人につき、1回は何かしらの研修の受講ができるよう、予算の確保や受講時間への配慮を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・センターでは個別療育が中心となるため、担当者中心の検討となるが、必要に応じて他職種・職員に相談をしながら計画している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	・個別療育が主のため、基本的には担当者がプログラムを立案しています。 時折、集団活動を行うこともありますが、その際は一緒に活動するお子さんの担当者と活動プログラムを検討し、実施しています。 ・基本的には個別で実施しているため担当が立案するが、担当が複数いる場合には共有することや必要に応じて相談し対応している。 ・個別療育のため、活動プログラムの立案は担当者が中心となって行っている。ただし、お子さんとは、実施内容について一緒に考えたり、実施方法について検討したりしながら進めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・お子さんの状況に応じて必要な支援を提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	・長期休暇のみ集団を組み合わせる場合もありますが、サービス計画にまで記載して支援しているかは分かりません。 ・基本的には個別活動が中心である。ただし、一部のお子さんについては、合同で実施する時間を確保している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・集団プログラムの時は、行っています。 ・個別療育の場合は、担当が準備を進めている。一部のお子さんと複数の職員で担当している場合には、保護者の対応やお子さんの対応などについて、簡単ではあるが役割分担をして対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・集団プログラムの時は、終了後に職員間で共有しています。 ・担当が複数いる場合には、実施後に短時間ではあるが、情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	・地域交流の機会までは提供できていません。 ・保護者の希望により、機能訓練中心にサービスを提供することが多いが、お子さんの状況によっては、短時間でも機能訓練以外の活動の提供をしている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・お子さん本人にも、やりたいこと・上手になりたいことを聞くようにしています。お子さんの意見を踏まえて支援しています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0			
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・送迎がないため日常的な連絡調整は行っていないが、下校時刻や学校行事を保護者様に確認し予約を取るようになっている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・就学前から児童発達支援で利用しているお子さんを担当しているため、就学前には保育所や幼稚園に訪問して園の先生方と情報共有しています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・終了時には、つなげるシートを作成して、次の移行先に情報提供しています。 ・基本的に中学生までの利用なので障害福祉サービス事業所等への移行は経験していません。しかし、中学校卒業後の進学先へは保護者や本人の希望を確認し支援の経過や利用者様の状況について書面を作成しています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・地域に児童発達支援センターはないが、県の発達障害者支援センターとは必要に応じて助言をもらったり、県の発達障害者支援センターが実施する研修を受講している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	・特別支援学校に通学しているお子さんについては、地元の子ども達とのふれあいはかなり限られるが、地元の特別支援学級を利用しているお子さんについては、放課後児童クラブを利用していたり、中学生は部活に所属していることもある。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	・センターの代表者が参加しています。 ・センターから自立支援協議会と障がい児支援部会に職員を派遣している。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・保護者同伴での通所なので、毎回お子さんの生活状況を保護者に確認したり、職員からも療育時の様子をフィードバックしています。 ・保護者同伴での利用であるため、毎回、前回以降のお子さんの様子を共有している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・ペアレントプログラムを希望者に実施しています。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・保護者から相談があった場合、基本的には療育時間内で対応していますが、場合によっては家族支援加算や子育てサポート加算として助言を行います。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	・保護者交流の機軸は設けていますが、きょうだい同士で交流できる機軸までは設けることができていません。 ・保護者会やきょうだい児支援は実施していない。会として活動したいと考えている保護者もいると思うが、一定の年齢が来ると卒業をしている関係で、保護者から『センターの保護者会を設立するので支援してほしい』との要望はない。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・ホームページをもう少し活用できるとよいと思っていますが、まだ十分にはできていません。 ・今後さらに充実させていけるとよいと思います。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・利用に対して、外部に公表したくない保護者もいるため、個人情報保護の観点から、事業所の行事に地域住民を招待することはない。ただし、年に1回は児童発達支援講演会を実施し、地域住民に児童発達支援について情報提供をしている。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・医師の指示書までもらっていませんが、保護者に確認しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			